

2月29日（金）

本会議に先立って、新年初めての市会開会なので、恒例によって京都市交響楽団の室内演奏。京都市歌のあと「ハイドンの聖アントニーによるディブエルメント変ロ長調」。春らしく軽やかな音色だった。そして、和服を着た門川大作新市長が登壇デビュー。いささか緊張の面持ちで就任の挨拶。市役所改革に全力を尽くすと所信表明。そして一旦降壇した後、3人の副市長と共に席に座り、改めて登壇して、08年度の京都市予算議案の要旨を提案説明。市民の目線に立った市役所改革と「京都力」を生かして自治のモデル都市を作り、マニフェストの実現に向けてスピード感をもって臨むと表明して、骨格予算について説明。また星川副市長からは、07年度の補正予算やその他の議案について説明があり、各議案については委員会付託をすることに。そして、2月19日に千葉県沖で発生した海上自衛隊のイージス艦「あたご」による漁船「清徳丸」の衝突事故に関する意見書を全会派賛成して採択し延会。その後、普通、公営企業予算特別委員会の委員長を互選して終わり。門川市長、ちょっと読み方を間違ったところもあったが、まずは無難にデビューやな。

午後は、議員団室にて本会議の質問原稿書き。だいぶ仕上がってきたので、担当者調整も。夕方は「経糸の会」の運営委員会。この6月28日（土）に開催する加藤登紀子さんを招いての「ヒューマンふれあいコンサート」の準備会。ポスターやチラシの準備もすでに進められている。夜は、事務所にてひたすら原稿書き。夜が明け始めていた。

2月28日（木）

朝、朝食を食べながらの民主党京都府連の緊急役員会。この3月22日に府連の大会

を開催することになっているのだが、福山参議院議員が会長を降りることになっていて後任人事を巡ってちょっとした波乱があり、さてどうするか、ということ。知恵を絞る。昼は、議員団室で代表質問の原稿書きを継続。夕方は、事務所に宮田栄次郎さん来所。宮田さんはもう80歳を越えておられるが、心筋梗塞から回復して元気。今回の市長選挙の予測は、投票率が読めなかったといわれるが、ほぼ当たっていた。今回で選挙予想は、お終いだとのこと。夕方から夜にかけて、事務所にて、民主党の大会議案書のメモ書き。この1年は選挙、選挙で政務調査委員会の活動はイマイチやったね。あまり書くこともない。次期の執行部に期待しよう。そして代表質問の原稿書き。同和行政のことを書くためには、12年前の本会議でのぼくの質問を再読。

2月27日（水）

午前10時から議員会を開催。都市計画局、産業観光局、環境局、総務局、保健福祉局、総合企画局、交通局と昨日に続いて説明と多少の質疑。夕方から事務所に籠もって代表質問を書き始める。民主・都みらい議員団のトップバッターであり民主党選挙対策委員会事務局長としての選挙経過や総括も言わないかなあ。また門川候補の「未来の京都まちづくりマニフェスト」を読み返しながら、争点になった同和行政のこと、不祥事根絶と市役所改革にも触れないといけないし、「京都力」という市民参加のことや新景観政策や左京区の諸問題について、そして地方自治体の財源に大きな影響が及ぶ、国会で与野党が対決している道路財源と暫定税率のことなども触れないかなあ、と頭の中で考えながらパソコンにメモを打ち込む作業を始める。わが議員団の持ち時間は72分。藤川、天方議員は21分。ぼくは30分の持ち時間。およそ1万字やな。質問要旨提出は来週の月曜日。久しぶりの代表質問なのでがんばろ

う！まずは、同和行政のことに触れるべく、12年前のぼくの市会本会議での質問を再読。自分で言うのもおかしいが、これは画期的な提起だったと思っている。市長選挙で歴史は繰り返したのだ。

2月26日（火）

市長選挙後の市会が告示。各会派は議員会を開き08年度の予算案や議案について各局と勉強会。新年度予算案は、骨格予算ということで継続的な事業が中心で、各局からの説明時間も30分ということで短い。教育、建設、理財、上下水道、文化市民、消防、選挙管理委員会、人事委員会、監査事務局から淡々と説明があり、それぞれ簡単な質疑。また小林理事からは、市会改革検討委員会の報告や今後の日程などの説明、夕方は、連合京都洛東地域協議会との懇談会。市長選挙のこと、今後の京都市政のことなど懇談。

2月25日（月）

小雪が舞う寒い朝、門川大作新市長の登庁式が市役所前広場で開かれる。議員や市職員、また選挙を応援した支持者等が待つことしばし、黒塗りの公用車で現れるのではなくて。地下鉄の駅から登場。拍手と花束で迎えられる。内海市会議長らの挨拶の後、「緊張感を持って現地、現場主義で大粒の汗をかいていく」。「厳しい選挙結果を厳粛、謙虚に受け止め、全身全霊で市政改革に邁進（まいしん）したい。職員不祥事を根絶、同和行政の市民の不信感を一掃する」と決意表明。健康に留意をして市政改革の舵取りに邁進してほしい。門川新市長のもとでの船出。前途多難やで。

午後、以前から予定されていた議員団での産業技術研究所の視察。まずは、五条七本松はリサーチパークにある工業技術センターに。センター長の西島元京大総長の

ご挨拶の後、各研究室を見学。漆や陶磁器などの伝統産業の技術や金属やメッキ、デザインなど京都の工業技術の基礎研究などを行っているところ。麴の研究も行われており、清酒を試飲。それから烏丸上立売にある西陣の伝統産業を支えてきた繊維技術センターに。織機が置いてあり、染色、デザイン、また繊維業界の技術相談などをするとところ。京都の産業は、これらの研究施設が役割を果たしているのだ。この二つのセンターは2年先にひとつのが建物に統合・合併され産業技術研究所として再出発することになっている。また繊維技術センター跡には、同志社のキャンパスが来る予定。

夕方は、京都 NPO センターの深尾君らと懇談。代表質問で市民参加のことについて質疑をしようと考えていたのでグッドタイミング。色々と課題について議論。

2月24日（日）

雪の朝、この2月は、ほんまによく降る。昼、中国人歌手・李広宏（リ・コウコウ）さんを囲む会。来日20周年でエッセイ集「老いた一本の桜の木」の出版を記念した集い。編集者の竹内孝治さんと出版元の京都修学社の三宮庄二さんのご縁で参加。

「夏の思い出」「千の風」、「早春賦」、「ふるさと」の日本の叙情歌を中国語もまじえて甘い透き通った声で熱唱。作詞作曲された「大地」は素晴らしかった。夕方は、久しぶりに家族で行きつけの居酒屋「炎の火」でゆっくり晩飯。

2月23日（土）

午前9時から民主党京都府連役員会と常任幹事会。八幡市長選挙の敗北と京都市長選挙での薄氷での勝利など、ちょっと重苦しい雰囲気。3月の定期大会では、会長選

挙もあり、また暫定税率・道路財源の確保のことで地方自治体と国会でのやり取りなど、色々と議論。そして京都市長選挙対策委員会の解散も確認されて、ぼくも重責からやっと解き放たれた。

午後、「やった！できた！すごいやろ！ーへんてこりんな子どもの世界園児の作品展」を見に三条京阪の「だん王保育園」に。子どもたちの夢のある共同作品や粘土による人形など豊かな表現力に感心。

そして「犯罪被害者支援京都フォーラム」に。理事長は同志社総長の大谷實先生で、実はわがカミさんも電話相談や最近では直接支援ということで裁判の傍聴につきそったりボランティアをこの7、8年してきて、フォーラムでは、3分間スピーチもしてちょっとびっくり。夕方は、京都府広告美術協同組合の懇談会に。新景観政策が施行されて屋外広告物の規制強化されて、業界もたいへん。京都にふさわしい優良な広告物をどう作っていくのか、課題は多い。色々とお話を伺う。外は、雪が舞う。午後8時過ぎにボーイスカウト24団の育成会に行く。青少年の健全な育成のためにスカウト活動にがんばっている人たち。外は、吹雪いていた。

2月22日（金）

久しぶりに、春うらら。昼、友人のC型肝炎の患者さんが来所。出産時にフィブリノゲンの投与があつたらしく、C型肝炎を発症し、このたびの薬害訴訟の和解における国の賠償についてどうすればいいのか、の相談。厚労省とはすでに連絡を取っておられるものの、母子手帳は保存されているが、当時の病院が廃院になりカルテが存在しないこと、など課題はある。弁護士を紹介することになる。

午後4時から市役所前広場で、梶本頼兼市長の退任式。3期12年の間、市政の改革

と京都創生策や新景観政策など大いなる成果を上げられたが、不祥事のこと心残りだったろう。市役所前広場には市職員や議員、また梶本市政を応援してこられた諸団体の人など市民が結集。星川副市長と内海議長が送る言葉を述べて、多くの人から花束の贈呈。そして感慨無量、笑顔で退任のご挨拶。そして門川大作新市長からも花束が贈呈されてバトンタッチ。最後に言われた「おおきに！」といかにも梶本さんらしかった。3期12年、ご苦労さまでした。

2月21日（木）

昼から連合京都など組合まわり、安堵感が漂うが、左京はたいへんやったね、と多くの人に冷やかされてまいった！夕方、わが事務所では、ボーイスカウト北星地区の会議が行われていた。20数年前に愚息が24団のカブ・スカウトでお世話になり、ぼくもデンダッドなどしたこともあり、また京都市会のスカウト振興議員連盟の一員でもあるのだが、ボーイスカウトの知人が、会議の会場を探されていたので活用していただいたしだい。久しぶりに会う同級生や親しいボーイスカウトの役員さんたちもいてなつかしい気分。また使ってくださいよ。

2月20日（水）

市長選挙も終わって、厚生委員会が開催される。環境局とは質問なし。駐車場の請願については、留保。一般質問はなし。各委員、市長選挙でお疲れの様子。保健福祉局からは、伏見区に建設が予定されていたケアハウスが事業主体の法人から事業を断念したいと申し出があり、助成事業が中止になったという報告。色々な請願については留保。一般質問で中国で生産輸入された餃子問題で、委員会で報告があるものと思っていたところ、報告がなく、また他の委員が取り上げるのかなと予想していたが、

誰も言及しなかったので、やおら挙手して、京都市の取り組みについて質疑をする。

衛生公害研究所で敏速に検査をして対処したとのこと。午前中に散会。午後は、議員団室の机の上に溜まっていた資料の整理などでして、ぼんやりしていた。

2月19日（火）

久しぶりに事務所にて、溜まった市長選挙やその他諸々の資料の整理。来客は、朝日新聞の政治部の記者が東京から来所。市長選挙の結果を受けて、どう考えるか。国会では二大政党制が定着する中で、共産党が強いという京都の特殊事情があったとしても民主党として、どう総括するのか、辛らつな質問。神のなせる業で薄氷の勝利。民主が先に門川候補に出馬要請して自民と公明があとから出馬要請をしたことを京都方式と揶揄されたが、自民と公明と民主の相乗りになったのは、2大政党時代に一周遅れかな、とも思うし、一方、大連立も言われるときに、国会の与野党の対決構造が持ち込まれるのは、市民の為の地方自治にほんとうにいいのか、どうか悩ましいところだ。ただ、今回の結果を虚心に受ければ、有権者は3極を望んだということかも知れないし、また不祥事問題や庁内出身ということに対する異論があったのだ。考えることは多い。ただこのような選挙は、もう2度としたくないという実感もあるのも事実。ほんまに疲れたもの。久しぶりにひとくち日記を書き込む。

2月18日（月）

ほんまに疲れた！朝、立ち上がれず。一日中、爆睡。昼飯を食ってまたテレビで映画を見てウツラウツラ。

2月17日（日）

寒い市長選挙の投票日。午前中はゆっくりして、昼過ぎカミさんと投票所のわが母校

の近衛中学校に。各町内の役員さんが投票所の受付に。投票率は悪そう。寒い体育館で、午前7時前から夜の8時過ぎまで寒い長い一日をご苦労さまです。事務所ではカミさんと後援会の方に棄権防止の電話をかけてもら手はずを整えて、選挙事務所に。選挙管理委員会の投票率の速報が気になるが、とりわけ報道機関の出口調査の途中経過を耳にするが、どうやら大接戦の様子。スタッフが、パソコンで数字をにらみながら分析するが、これはやばいぞ！15万票から16万票のせめぎ合いだ。そして民主支持者の票が、村山候補と中村候補に流れている。午後8時に投票箱は閉められて、すぐに当選確実が速報で出されることはなさそう。選挙事務所には、国会府市会議員や支援者がテントを張って急遽作られた会場に集まり、開票速報を固唾を呑んで見守る。途中、八幡市長選挙では、自公推薦の明田氏が勝利したと速報。自公の議員からは拍手。わが民主勢はむっつり。そして東山や上京、山科では、門川候補がしのいだが、そんなに差がない。南区では中村候補に負けた。そしてわが左京区では、予想どおり村山と中村両氏が18000票台で、門川は、15000票台。北でも右京でも中村氏にせり負けて、いったいどうなることやら。緊張感が漂う中、大票田の伏見区が3000票近くの差で、ようやく当選確実が出たのは、午後11時を過ぎていた。ようやく安堵の歓声。なんと951票！の差。投票率は、37.82パーセント。投票に行った人は、有権者114万人のうち43万人。門川候補には投票した人は、15万8472人。万歳三唱もされたが、盛り上がりはない。門川候補も硬い表情だった。ともあれ、門川市長が誕生した。この結果を謙虚に受けて市政運営をして欲しい。そして民主党にとっても大きな宿題が残ったよ。ほんまに疲れた！外では、雪が舞っていた。

2月16日（土）

色々あった市長選挙もいよいよ最終日。午前中は、地元吉田を最後のビラ撒きを取行。ビラ撒きは選挙の原点。この間、我ながらよく歩いたよ。去年の自分の選挙のときもこうしていればよかったやんな。3年先は歩くぞ！午後2時過ぎにはラスト・サタデー作戦ということで、例によって高野のイズミヤ前に自民、民主、公明の各議員と各後援会や自治労のメンバーが結集。そこに未来京都の確認車が到着し、次に選挙カーに乗った門川候補が登場、最後の訴え！共産党陣営も村山陣営も少し時間をずらして街頭行動。一触即発とはならなかったが、緊張感が漂う。自治労の部隊は桃太郎作戦。そして夕方5時前、三条河原町には、各所で街頭行動をしてきた連合京都と民主党の議員の支持者等が結集して、最後の街頭演説。まずは大型宣伝カーで立石会長、山田知事、梶本市長、そして民主党の国会議員が熱弁をふるい、続いて選挙カーで門川候補が到着。車の上に上がって、福山議員とともに最後の最後の訴え。2週間にわたった雪の降る寒い選挙もいよいよ最終幕。午後8時には街頭を走ってきた選挙車と確認車が無事に帰還。わが同輩の山本恵議員も街頭部としてノリノリだったし、青木芳香もウグイス嬢としてようがんばった。門川候補は最後の演説会に行っていたが、午後9時過ぎには、この2週間ぼくと一緒に様々な困難を乗り越えてくれたわが民主党の若いスタッフとともに選挙事務所を後にする。お疲れさんでした。さて明日はどうなるやろうか。

2月15日（金）

朝の街頭行動の3日目。眠たいよ！ちょっと遅刻や。東山区は中野洋一議員が責任者になって京阪東福寺駅前では連合京都のみなさんと早朝のビラ撒き。

あまり寒くなくて助かった。昼前、わが事務所の斜め向かいの中大路町の大角時昭さんの告別式。大角さんは、ぼくが小さいときからお世話になり、また吉田神社氏子講社の役員で、お祭のときや節分のときにお世話になった。

昨年来、入退院を繰り返えされていて今年の節分は欠席された。享年73歳。ご冥福を。午後は、未来京都の機関紙3号のビラを地元一円を撒きに歩く。5時間ほどで1200枚を撒き切る。平松大阪市長の応援は断念。夕方は選挙事務所で最後の打ち合わせ。夜、久しぶりに友人と熱燗で一献。ストレスが溜まりまた疲れていて、ちょっと愚痴ぽかったかな。

2月14日（木）

朝の街頭行動の2日目。予定していた出町柳駅前、共産党に先を越されていたので加茂大橋でビラ撒きと通勤途上のドライバーのみなさんに手を振る。前原、北岡、隠塚、そしてぼくの後援会のメンバーと連合京都は洛東地協の組合員さんら。雪は降っていないが鴨川に吹く風が冷たい！ほんまに寒い！その後、事務所にて。とある老人ホームのことで相談ごと。行政の対応が遅い、との指摘。午後、選挙事務所で正副事務局長会議と記者会見。平松大阪市長が応援に駆けつけてもらえるかもしれないということで、色々と調整が始まるが、条件整備が難航。押したり引いたり。頭が痛いよ。夜は、隠塚議員が責任者の演説会がアピカルイン京都で開催。ぼくは1聴衆。300人を超える参加者。地元ゆえ、前原議員には来て欲しかったが、愛里さんが代理。終了後、各後援会の役員さんらに残っていただいて、世論調査の動向など説明、某放送局の調査では門川・中村、紙一重。左京区では村山、中村、門川の順番、ほんまに厳しいのですよ。頼みませ！

2月13日（水）

いよいよ終盤！最後の追い込み。民主党が連合京都のみなさんのと協力して朝の街頭行動する初日。6時過ぎに目覚めたら、なんと雪や！車を出すわけに行かず、地下鉄で山科駅へ。山科駅前では、雪が降り続けるなかで、出勤や通学途上の人に対して門川候補をよろしくとビラ撒き。自治労の組合員と2区の国会・府市会議員の後援会のメンバーも数人。傘をさしている人も多くビラを取る人は少ないのが残念。そのまま選挙事務所に出勤。少し休んで昨日に続いて、小雪舞う中を宇都宮幹事長の運転で3区と4区の議員事務所に激励回りの継続。山本恵、田渕、山本ひろふみ、山岸事務所から、京都市の最南端は淀の安井事務所に足を伸ばし、続いて西京区は佐川、天方。右京区は、青木、熊谷、そして立派な北神事務所から最後は今枝事務所。市内一円を回った。これで追い込みの空気が入るだろう。夕方は、市役所で隣接の家と揉めている方の市民相談ごと1件。午後6時前には、市役所前に選挙車で門川候補が登場、榊本市長と車の上に乗って市役所職員や自治労組合員に熱い訴え！夜は、上京区は新町小学校で小林議員が責任者の演説会の様子を見に。寒いので聴衆の出足は悪く心配をしていたが、開会時にはなんとか埋まった。300人やな。寒い中、ご苦労さん。動員された人が多く、地元の人はいないかな。応援弁士に伏見工業高校のラグビー部の監督だった山口良治さんが熱弁。候補者の到着が遅れて福山議員が少し長引かせた。門川候補、声がかすれてきたが、元気そうだ。校庭の水溜りには氷が張っていた。寒いはずや。

2月12日（火）

朝、相談ごと1件。新築マンション計画に新景観条例が関連してちょっと困っている

と建築設計士さん。昨年の今頃市会で大いなる議論がされ、全会派一致して賛成し、条例が9月から施行されたが、色々と課題があるなあ。

昨日キレて、市長選対事務長辞任表明もしたが、気を取り直して、宇都宮幹事長の運転で、昼から民主党の国会・府市会議員に、終盤の電話作戦を特にがんばってもらうように各議員事務所の激励・査閲？に回り始める。田中府会議員事務所を皮切りに、安孫子、福山、小林、武田、前原、北岡、隠塚、さらに山科の豊田、藤川、そして東山の中野事務所を回りきって、がんばってくださいよ、とお願いをする。夕方は、岩倉のとある道路の舗装問題のことで市民相談を受けた後、前原事務所で前原後援会の役員さんに集まってもらって左京対策をどうするか協議。決戦場は左京だが、さてどうしようか！

2月11日（月・祭日）

選挙戦もいよいよ終盤。門川選挙事務所では、ほぼ毎日色々と会議をして調整をするために4階の民主党のブースに詰めているが、今日は事務所当番ということで、午前10時から一階に座る。各会派の議員も交代で座っている。機嫌よく座っていたが、とある事が勃発。プツンくる。午後は、終盤を迎えて当初から予定していた民主党の選挙対策委員会。進行役を務めて、各部の責任者から報告をしてもらい、今後の日程など色々と確認をして行く。また世論調査の動向を受けて非常に厳しい状況にあることを説明。そして、終わりがけに、先ほどのことで、もうやってられない、という気分です務局長の辞任を表明。参加者一同啞然とされるが。ほんまにキレたのだ！慰留をされるが、今までのストレスもあり、予定されていた正副事務長会議も代理に任せて帰宅。ほんまに今回の選挙は疲れるよ。上から下から、前から後から、横から

斜めから、色んなことを言われて、調整役はもうたいへんだ！酒を飲んで寝るに限る！

2月10日（日）

雪は止み、久しぶりに陽が差す。午後、わが後援会のメンバーと熊野神社交差点で「未来京都」の機関紙のビラ撒き。久しぶりに会う方も。街の反応はイマイチやな。各社の世論調査の結果がぼちぼち出始めてきた。門川候補が少しはリードしているが、中村候補との差はそんなに開いていないし、村山候補も健闘している。そして相乗り批判もあって、民主党の支持者の3割強しか門川候補を支持していない状況だ。左京は村山候補がトップで中村、門川の順らしい。予想していたことだが、えらいこっちゃで。投票率もさほど上がらんやろう。大雑把なところで115万の有権者で、40パーセント弱の投票率で、仮に42万票だったら、村山、岡田候補の2人で10万票、中村候補は共産党の底力で15万票は出るだろう。で残る17万票は門川に来るだろうか？！予断は許されないぞ、というのがぼくの予想。

夕方は前原後援会の静原の役員さんの妹さんが亡くなり通夜に参列。その場に前原後援会の役員さんたちも来られていたので、世論調査の結果を伝え、引き締めをお願いする。

2月9日（土）

雪ですよ。昨夜の演説会を終えてほっと一息。9時過ぎに出町で確認車に北岡、隠塚議員と共に乗り込む。蛇足だが、選挙中は、候補者が乗る選挙車と候補者が乗らないが確認団体「未来京都」の2台が使える車。雪が降る中、岩倉から市原に向かう。手もかじかむ。寒い寒い、そして静原に行くと一面雪景色。江文峠を慎重に越えて大原

の里。雪景色の大原を楽しむ観光客もチラホラ。民主党の推す門川候補をよろしくとマイクで訴えながら、八瀬から上高野、修学院を回って蹴上で山科の議員に引継ぎ。午後は、銀閣寺前の哲学の道の疏水の浚渫、泥さらいで、ホタルがいなくなるのではないか、という市民の声を聞きに伺う。雪を楽しむ観光客も多いが、転ぶ人も。疏水事務所に浚渫作業のことを説明に行くように電話をしよう。午後4時過ぎ、下京区は西大路七条で連合京都と自治労市職のメンバーが結集したところに候補者を乗せた選挙車が来て、松井孝治参議院議員と一緒にスポット演説。みぞれが降る中、傘をさしながらの街頭行動。寒い寒い！午後7時から民主党の選対スタッフ会議。演説会場の雰囲気や街頭行動のこと、電話作戦の取り組み状況など点検。終盤戦に向けての取り組みを確認。また雪の状況を見て明日、京北町に民主党担当の確認車に行くかどうか、議論。色んなことの調整役。夜は、吉田の節分で警備に当たっていた今宮会の反省会・直会の二次会に参加。ワイワイと久しぶりにリラックス。

2月8日（金）

朝10時から午後1時まで、北岡、隠塚議員と一緒に選挙車に乗って左京区内を回る。門川候補、所々で寒風にもかかわらず車から身を乗り出して箱乗り。必死の思いは伝わってくる。まちも少しは選挙の雰囲気になってきたかな、と思っているのは、我々だけか。反応はイマイチや。ぼくも地元の吉田、聖護院を走るときはマイクを持つが、昔のように声が續かんね。午後は正副事務長会議をして、諸般のことを協議。とあるところで予定されている政談演説会のことがもっぱらの話題。夕方、わが母校の近衛中学校に。わが後援会と前原後援会のメンバーなどで椅子出しや会場の設営も終わり、車の誘導係も配置について聴衆を待つのみ。寒いし来てもらえるだろうか

と心配していたが、開会直前の7時には、ほぼ椅子席は埋まる。よかった。ぼくが司会。北岡府議、木村幹雄連合会長、門川候補を最も知っている榊本市長も来ていただく予定だったが、風邪で声が出んようになったとのこと。残念。代打は上原副市長。前原議員は、予算委員会の関係で来れずに奥さんの愛里さんが代理でメッセージを朗読。時間がなくてやきもき。松井孝治議員のあとに門川候補が熱弁。20年前、ぼくが初当選したとき、彼は論争相手だった。まさか市長候補になるとは、当時思いもなかったよ。ぼくよりも2学年下の市長候補。拍手で送り出して最後は福山参議院議員が応援の弁。主催者発表330人の参加者で立ち見の人もおられて、ほぼ目標を達してほっとした。

2月7日（木）

朝から夕方まで演説会の案内ビラ撒き。思い出せば4年前の市長選挙のときは学生のインターン生を受け入れていて、彼女たちの手助けもあってたくさんのビラを撒けた。今回は後援会のメンバーにもお願いして撒いてもらっているが、僕自身が歩くことに効果がある。歩いていると、知人に声をかけることができるし、相談ごとをもちかけられたり、家が建て替えられていたり、空き家になっていたり、まちの風景が少しずつ変わっていく様子わかる。それにしても子どもたちには会わないな。夕方、毎日行われている記者会見に顔を出す。翌日の日程を発表するだけの淡々とした記者会見。あまり出ても意味がないかな。夜は、ひたすら友人等に電話で演説会への参加の要請。

2月6日（水）

朝から近衛中学校での演説会の案内ビラを持って左京区内の組合や親しい団体に参

加のお願いに回る。また民主党のスタッフと打ち合わせをしたり。昨夜の安孫子和子議員が責任者の演説会には300人の参加者があったという報告。ようがんばらりました。各会場目標は300人。ぼくもがんばろう！夕方はラポール京都で「2008年春闘・連合京都闘争宣言・京都市長選挙勝利集会」に。会場はほぼ満杯で熱気。民主党の府市会議員も多く参加。その後、とある福祉施設の今後の運営のことで関係者と協議。

2月5日（火）

事務所では、カミさんを中心にわが後援会のメンバーが電話作戦を展開。なんで民主党は、単独で候補者を擁立しなかったのですか、相乗りはダメですよ、というお叱りの声も。いやはや、つらいね。ぼくはビラ撒きの合間を縫って、忙中暇あり。吉田歯科でブリッジを入れてもらう。選挙戦の状況など聞かれて、いや厳しい選挙ですよ。左京では村山君が2万票ぐらい行きそうですよ、とぼく。午後は、選挙事務所で正副事務長会議。民主党として国会議員を選挙の前面に出すべく車に乗せること等、色々と折衝するが、なかなか理解してもらえない。夕方は、わが事務所に後援会のメンバーに集まってもらって、8日の近衛中学校での演説会の、車の誘導係りや受付や椅子出しのことなど打ち合わせ。目標は300人。がんばろう！

2月4日（月）

選挙戦2日目。眠たい！11時から出町で門川候補が乗った選挙車に乗り込む。上京区は自民、公明、民主の議員が相乗りしていたが、左京は民主の割り当て。北岡、隠塚議員と3人で乗り込み、前原議員が後続車で着いてくる。出町柳駅前、イズミヤ前、修学院、岩倉、洛北高校前で前原議員と門川候補と一緒にスポット演説。前原議員が

いると市民の反応もいいのだがー。ウグイス嬢はもちろん北岡議員。絶妙だね。午後は、地元をぼくが責任者の8日の近衛中学校での演説会の告知ビラを持ってひたすら配布。歩く歩く。1年前の僕自身の選挙のときは、ほんまに歩く時間がなかったなあ。夕方は、わが悪友南区選出の山本恵議員が責任者の個人演説会に。新都ホテルの会場は小さな部屋だったが、まずは超満員でほっとする。

2月3日（日）

えらいこっちゃ！雪や！公営掲示板のポスター貼りのメンバーも来てくれる。ぼくは、羽織白袴姿でいざ門川事務所の出陣式に。小雪が舞う中、事務所前の御池通の歩道は、支援者で埋まる。白いカップを着込んだ立石選対本部長に榊本市長、山田知事、自民の谷垣議員と民主は福山哲郎府連会長が、公明は角替代表が挨拶して、門川候補が出陣の挨拶。ともかく雪の選挙戦が始まった！ぼくは見送ってそのまま吉田神社へ。市役所前で青年会議所が呼びかけた4人の候補の合同街頭演説会には門川候補は結局参加せず。参加すべきだ、というのがぼくの意見だった。日曜日の節分だというのに、雪から小雨が降り予想していたより参拝客は少ない。巫女さんのひとは近衛中学校の先生で教え子たちに人気。夕方、羽織白袴姿で、京都ホテルへ。民主党主催の門川個人演説会。寒い中を800人ほどの参加者が詰め掛けてくれて会場はほぼ満員。立石会長、北神、泉、松井、福山、前原議員と京都の民主党の国会議員が応援の弁。そして門川候補が初めての演説。ちょっと散漫、ぐーとひきつけるものがないかな。民主党としては、まずはスタートダッシュとしては成功か。終了後、吉田神社へ引き返し、お神楽の受付に座る。日曜日の夜、小雨模様で午後11時からのお札さんを燃やす火炉式も今年は参拝客が少なくて雑踏の警備も楽そう。そして最後は、

警備に当たっていた今宮会のメンバー等と例によって一杯飲んで帰宅したのは午前1時。長い一日だった。疲れたよ！

2月2日（土）

吉田神社の節分祭。わが家で下着にカイロを付けて白袴と羽織を着て、いざ吉田神社に。例によって、わが後援会会長の柿阪正夫さんらと本宮の横の巫女さんがお神楽を舞い追儼の矢をお渡しする受付役。火鉢に炭をおこして準備万全。今年は暖かい。今年には市長選挙でどうしようかな、と悩んだが、途中抜けることを了解していただいた。で、昼前には、羽織と袴のままの姿で選挙事務所に。みんなからいささか奇異な目で見られるが、正副事務長会議と明日の演説会の最後の詰めをして、そそくさと吉田神社に戻る。帰途、須賀神社の節分を覗いて、ピーヒャラ・ピーヒャラの雅楽を聴きながらまた受付に座る。地元吉田の人や遠くからの参拝客が、厄払いや家内安全など諸事の願い事を祈願。参拝客から見られるところなので緊張するよ。門川候補も忙しい中、駆けつけ必勝祈願。午後6時には古式に則った「鬼やらい式」。境内は参拝客でごった返す。午後8時過ぎに小雨が降り始め参拝客もやや少なくなる。午後11時過ぎまで座っていささか疲れた。

2月1日（金）

今日から2月。いよいよ市長選挙。わがポンコツ車に「未来京都」のポスタを積んで、以前貼った門川前教育長と山田知事のコンビのポスターに貼り変える作業。これを「流し込み」というらしい。また3日の民主党主催の演説会への参加を呼びかける電話作戦と未来京都の事務所の4階の民主党のブースでは演説会の日程や受付の配置

などスタッフと打ち合わせ。